

「三度のメシより日本（クニ）が好き！！！」という想いを大切に。日本という国は、古来より極めて稀有な日本人としてのアイデンティティ＝“らしさ”を生み出し、受け継いできた。武士道精神・侘び寂びの心・八百万神の信仰・母音中心言語などといった独特の日本文化は世界的に見て常に少数派である。現代におけるグローバリゼーションの中で失われつつあるこの精神性＝“日本らしさ”を大切にしたい。日本は美しき瑞穂の国。クニ＝ムラの集合体であり、弥生時代より脈々と受け継がれた土地や水を守る地域コミュニティの神髄である。

日本の農山漁村の生業と文化を大切に、集落でかけがえのない時を過ごす人と人とがつながっていく世界観、「日本列島集落ツーリズム構想」を提唱する。これは田中角栄先生の「日本列島改造論」をリスペクトして、都市と地方の格差を是正し、高速交通網・情報網を活用し、観光⇒関係人口⇒二地域居住⇒移住定住の流れを都市から地方へと加速させることである。また、地震大国日本の防災減災対策はソフト／ハード両面から整備するべきであり、アウトドア×防災の考え方を普及啓発し、国土強靱化を物心両面から進めなければならない。

今あるものを最大限に活かし、持続可能な文化観光地域づくりを推進することが必要である。有形・無形の文化財を活用した高付加価値なインバウンド観光を推進し、文化を次世代へと継承していく。観光産業から始まる毎年2%程度のインフレを起こし、実質賃金も向上させることで経済成長の好循環へと繋げ、成熟経済とすることができると考える。本県で例えるのであれば、佐渡島（さど）の金山・大地の芸術祭・糸魚川ユネスコ世界ジオパーク・むらかみ町屋再生プロジェクトなど全県の持つ文化地域資源を点から線へ、線から面へと展開することで「おもてなしの心」が人のご縁でつながっていくイメージである。加えて、食の安全保障の観点からも食料自給率向上及び地産地消の推進が必要と考える。

人口戦略会議によると消滅可能性自治体に全国1741のうち約43%にあたる744自治体が該当、本県では30市町村のうち、18市町村で6割にも上る。そこで本県においては、生涯活躍のまちづくり（CCRC）、健康寿命の延伸施策等の推進により、自然減の減り幅を抑え、社会減をプラスマイナスゼロに近づけることが必要と考える。また、合計特殊出生率と希望出生率には全国平均で0.5ポイントのギャップがあるため、幸せに暮らす多子世帯が増えるように大胆な税制優遇等を図る、あるいは消滅可能性自治体に限定した多子世帯のための補助制度を創設するべきである。間近に迫る有人国境離島特別措置法の改正について、本土との格差是正を昇華させ、アドバンテージへとつなげる離島創生、地方創生を推進しなければならない。教育の無償化、ソサイエティ5.0への対応、DX、GXなどを実証実験するフィールドに離島を優先的に選定するべきである。そして、佐渡粟島沖の浮体式洋上風力発電を中心とする「新潟県自然エネルギーの島構想」を加速化させ、2050年カーボンニュートラルを実現しなければならない。新潟モデルを全国へと展開し、佐渡・新潟が日本の「扇の要」として燦然と金のごとく光り輝く、そのことを世界に誇りたいと夢見ている。

上記の諸課題を解決するために、新潟県の代表として政策を一步でも前に進めるためにも、この度の公募に応募させていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。